



水槽1, オオミクリ、マツモ
右側のガラス水槽内：ガガブタ



水槽2、カンガレイ(D)、ミツガシワ、オオミクリ、アサザ、トチカガミ、ヒメビシ、エビモ (殖芽あり) ノタヌキモ



水槽3, カンガレイ、サジオモダカ (D)、トチカガミ、アサザ、デンジソウ、ノタヌキモ (優勢)、セキショウモ



水槽4、フトイ、イグサ、コウホネ (新規)、タヌキモ類 (多し)、エソヤナギモ



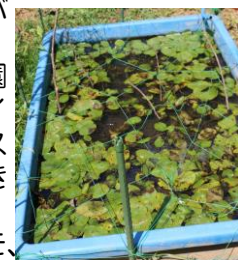
水槽5, ヒメガマ、アサザ (D)、イヌタヌキモ (水面下でD)



水槽6, トチカガミ、ヤナギモ (D)、エビモ、ホザキノフサモ、コカナダモ、イノカシラフラスコモ



水槽7, オニバス (水元由来、千葉緑化植物園より受領)、イノカシラフラスコモ (やや大きな群落、雌株) ホザキノフサモ、エビモ、



水槽8, シュンサイ (印旛沼産) 7月18日には水面一杯に美しく葉を広げていたが、25日には原因不明の腐食が生じた。



水槽9, カンガレイ、ヒルムシロ、マツモ、コカナダモ



水槽10, カンガレイ、サジオモダカ、コウガイゼキショウ、アサザ、エソヤナギモ、イノカシラフラスコモ? ノタヌキモ (D)



水槽11, カンガレイ、サジオモダカ、デンジソウ (D)、ノタヌキモ



水槽12, オオミクリ、トチカガミ、マツモ、シャジクモ類 (ほとんど枯れかかり)

大型水槽内水草調査-1
2021, 7, 18
(調査者、名取、中谷、堀、徳永、福永) (写真撮影：水槽1~10は7月25日、水槽11~15は7月18日に中谷が撮影)

(D):優占を示す



水槽13, オオミクリ、ウキヤガラ、セキショウモ (D)



水槽14, オオミクリ、サジオモダカ、ヒルムシロ、エビモ、ノタヌキモ、シャジクモ類



水槽15, カンガレイ、ウキヤガラ、ヒルムシロ (D)、ヒメビシ、マツモ



第1水槽の小型水槽のガガブタ



第2水槽：エビモのできたての殖芽
エビモはこの後枯れる。秋に殖芽から発芽して春まで生育する。



第5水槽：アサザに花一輪開花、水面下ではイヌタヌキモが優占



第5水槽のイヌタヌキモと思われる（枝ぶりが平面的）



第6水槽のホザキノフサモ



第7水槽、オニバスの葉裏
（中谷撮影 2021, 7, 25）

オニバスの葉裏（このくらいの葉になると葉の裏が紫色（アントシアニン）になる。多くの浮葉植物の葉裏はこのような色になって鏡の裏の原理で光合成に必要な光が葉の裏に達した時反射して組織内に光をもどす効果があると思われる。）

大型水槽内水草調査-2
2021, 7, 18
（調査者、名取、中谷、堀、徳永、福永）



第10水槽の小ぶりのヤナギモはエゾヤナギモと思われる



第13水槽のセキショウモ



第14水槽のシャジクモ類